

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東住吉区
学 校 名	大阪市立矢田東小学校
学校長名	梶原 進

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市矢田東小学校では、第6学年 45名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科については、正答率が全国平均より9.2ポイント下回り、全ての領域で全国平均を下回った。特に「B 書くこと」については市平均からも大きく差が開いた。算数科についても、正答率が全国平均より11.5ポイント下回り、全ての領域で全国平均を下回っていた。

平均無答率については、国語科では全国平均とほぼ差はなかったが、算数科では全国平均と

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

全体的に平均正答率は下回っているが「B書くこと」「C読むこと」については、全国と比べると差はあるものの、昨年と比べるとその数値は大きく上昇している。基礎基本の学力の向上を目指す「矢田東小学校クライミング」の成果が確実に表れているようである。今後の課題として「話し合ったり聞いたりする力」の育成をどのように高めていくのか考えていく必要がある。

〔算数〕

「数と計算」「変化と関係」は、全国平均と比べると約9ポイントと下回っているものの差は大きくない。しかし、「図形」「データの活用」に関しては、約11.5ポイントとその差は大きかった。無答率も高い傾向にあり、さらに踏み込んで基礎基本の学習の定着に取り組んでいく必要である。

質問紙調査より

「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんなことがあってもいけない」「自分にはよいところがある」などを肯定的に回答した児童の割合は、ほぼ全国を上回っている。また「学校に行くのは楽しい」「話し合う活動はできていますか」の項目については、ほぼ平均の結果となった。これらの結果から、昨年と比べると学校生活や学習について肯定的に、さらに意欲的にとらえている児童が多くなってきたようである。しかし、授業時間以外の学習(家庭学習・読書など)に対する意識は低く、まだまだ高める余地がある。読書活動の推進や基礎基本の学力の定着など、さらに取り組みを充実させていきたい。

今後の取組(アクションプラン)

国語科や算数科について、基礎基本の学力の向上に向けて意識する児童は多くなってきた。今後は授業展開や個に対する指導の工夫を考えていく必要がある。また低学年からの系統立てた指導や「話す・聞く」技能の習得を確実にしていくことが大切である。ただ「読む・書く」について、その力は以前よりも向上しており「矢田東小学校クライミング」や「読書ノート」の活用など、基礎基本となる学力の定着を目指す活動の成果が表れたと思われる。算数科と合わせて、発展的な学力を引き上げる手立てをさらに充実させていきたい。

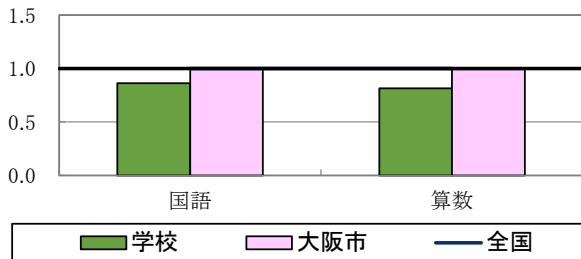
今回の調査でも生活習慣と学力に関係があることが明らかになった。学習に対する意欲は高まってきているため、「生活振り返り週間」など通して、児童だけでなく家庭・保護者にも啓発を進めていきたい。

全体の概要

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	58	51
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

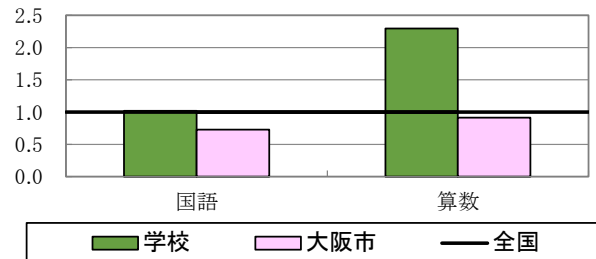
平均正答率(対全国比)



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	4.9	7.8
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

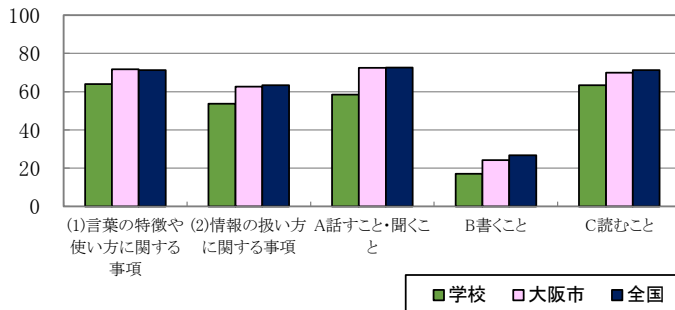
平均無解答率(対全国比)



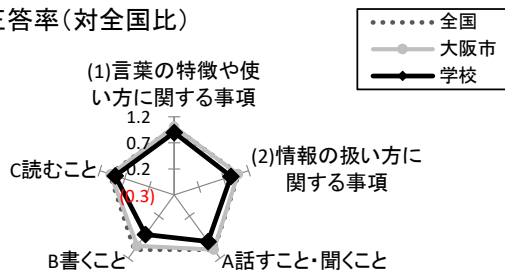
【国語】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	63.9	71.7	71.2
(2)情報の扱い方 に関する事項	2	53.7	62.6	63.4
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	58.5	72.4	72.6
B 書くこと	1	17.1	24.2	26.7
C 読むこと	3	63.4	69.9	71.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



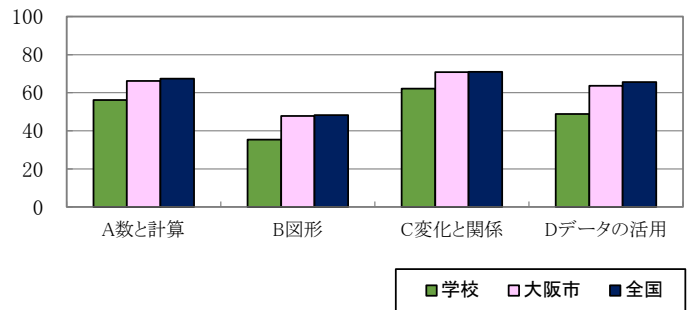
国語 領域別正答率(対全国比)



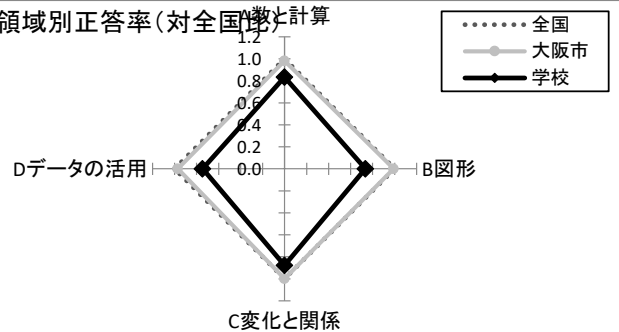
【算数】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	56.1	66.1	67.3
B 図形	4	35.4	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	62.2	70.8	70.9
D データの活用	3	48.8	63.6	65.5

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

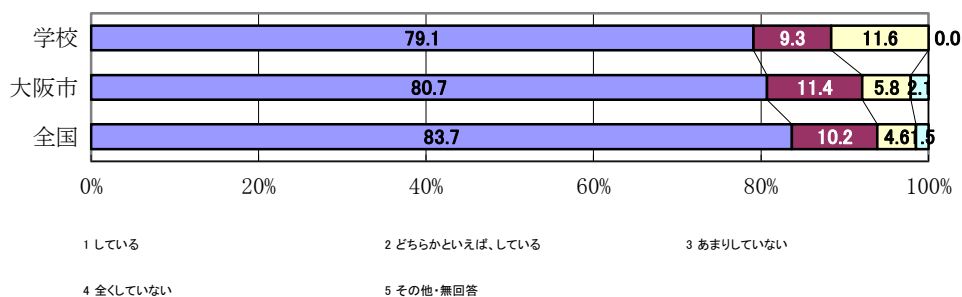
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

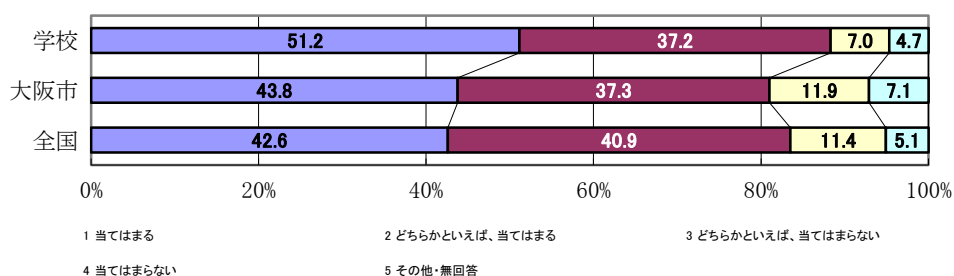
1

朝食を毎日食べている



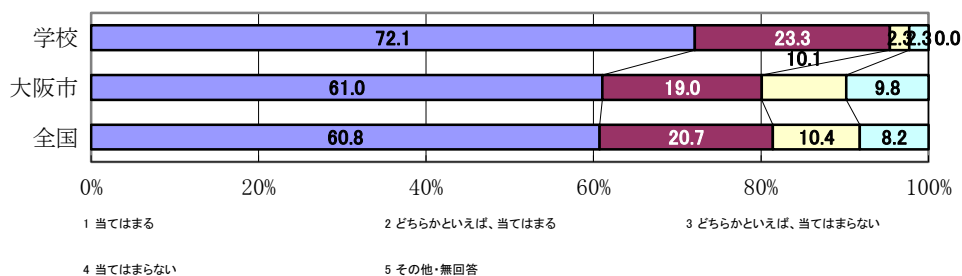
4

自分には、よいところがあると思う



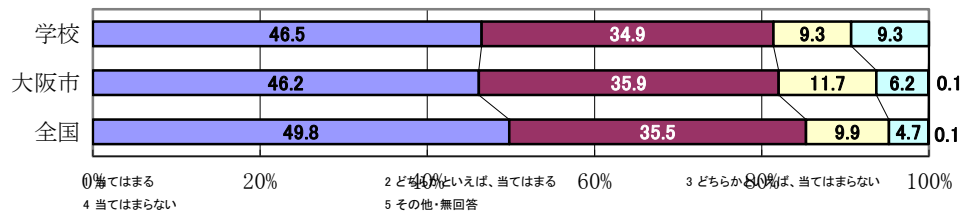
7

将来の夢や目標を持っている



12

学校に行くのは楽しいと思う



14

友達関係に満足している

